

# 広報 たすか

No.696

2019年(平成31年)

4.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

## 祝! 卒業

～ 新たな希望を胸に～



3月13日 関川中学校 卒業式



平成31年度

## 施政方針説明

3月7日、定例村議会の初日に行われた平成31年度施政方針説明で、加藤弘村長が村政運営の基本方針と主要事業について述べました。予算編成を除き、ほぼ全文を掲載しました。予算の説明は9〜12ページをご覧ください。



関川村議会3月定例会議に際し、平成31年度の各会計予算案をはじめとした諸議案の審議をお願いするにあたり、村政運営に臨む所信と施策の概要を申し述べ、議員各位並びに村民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、間もなく平成という時代が終わろうとしています。平成元年当時の村の人口は8425人、2059世帯でありました。

平成最後の1月末現在では5650人、1914世帯と大きく減り、国難とも言われる急速な少子高齢化、人口減少が今なお進行しています。

また、村の一般会計当初予算を比べますと平成元年度35億5400万円だったものが、平成30年度では、そのピークは終わったものの、47億6200万円まで増加しています。

少子高齢化の進行に伴う社会保障制度の改革、度重なる制度改正、生活環境の改善に向けた下水道整備など社会資本の整備、村民の多様なニーズに対応した行政サービスの充実、こうした取り組みが進む中で地方行政の役割と財政負担が拡大した時代が平成の

時代だったのではないのでしょうか。

それでは、平成の次の時代、どのように村づくりを進めるべきでしょうか。

先の国会において、安倍首相の所信表明演説では、急速に進む少子高齢化に対しては、今を生きる私たちが力を合わせ、平成のその先の時代を切り開くとし、全世代型社会保障への転換、成長戦略、地方創生などを軸に、躍動感あふれる時代を切り開くと述べています。

当村としましても、地方創生の方針に沿った各種施策の取り組みを進める必要がありますが、各地域の活力を維持するためには、まずは、地域のリーダーを育て、地域の課題は地域で考え、課題解決型、分権型として、それぞれ個性ある取り組みができるコミュニティを作り上げる必要があります。併せて、自治組織であるコミュニティの活性化が重要です。

行政運営について申し上げますと、過疎化、高齢化の進行が著しく、産業基盤、財政基盤の弱い当村にとっては、村民からのさまざまな行政二

ーズを今まで同様の拡大路線によって解決することは、容易なことではありません。

民間企業であれば、消費的支出、言い換えれば儲けにならない支出は抑制し、未来に通じる投資に資金を振り向けます。

行政の究極の目的は、村民の満足度向上であり、そのためには、村民のニーズを踏まえた行政運営が必要となりますので、一概に民間の論理は通じないものの、たとえば、補助であれば、経常的・赤字補てん的な補助でなく、活動・事業の新たな展開を後押しする未来志向の補助に重点を置くべきであると考えます。消費よりも投資が重要と考えます。

時代の岐路にあつては、住民生活の向上や、活力ある地域づくりのため、そして、村の将来を担う子どもたちのため、村民総参加・村民協働により、変化を恐れず、改めるべきものは改めて、新たな関川村を作り上げる必要があるのではないのでしょうか。

新たな元号の元年となる今年、当村においては、将来を見据えた「再生元年」として

位置づけ、第6次総合計画の実現に向け、行政の組織体制の充実を図り、村民の皆さまと、より活発な協議を進めてまいりたいと考えています。

さて私が、一昨年12月に村長就任以来、一年二か月が過ぎました。これまで残されてきた懸案事項の解決や、村の発展のための政策推進など、村政の舵をしっかりとるためには、何よりも持続可能な行政運営が不可欠であります。この意味から、村財政運営計画、中期の財政シミュレーションを実施し、昨年11月に村の財政状況について、可能な限りわかりやすく村民の皆さまに公表をさせていただいたところです。

国政における地方財政対策としましては、地方創生推進、防災減災対策等に取り組みつつ、安定的な財政運営ができるよう、地方交付税等の一般財源総額は、対前年で0・6兆円上回る額となっております。これは、地方税、地方譲与税の伸びによるもので、地方交付税のみで見ますと、対前年で0・1く0・2兆円程度の伸びとなっているのが現状です。

当村においては、平成31年度から（仮称）森林環境譲与税が導入されるものの、自主財源が乏しく、しかも地方税の伸びが少ない現状から、財政運営は依然として、かなり厳しい状況にあると認識しています。

こうした中での村の平成31年度当初予算は、私にとりまして実質的な初めての本格的な予算編成となりました。

予算編成の基本的な考え方としては、「入るを量りて出づるを制す」という財政の基本をもとに、歳入面では、国・県支出金等による財源確保、後年度の財政負担を考慮しつつ有利な起債の積極的活用を図るとともに、ふるさと納税が村の貴重な財源となることから、その積極的な活用を目指し、制度の拡充を図りました。さらに5月をめどにインターネット納税サイトでの受入窓口をさらに拡大するなど歳入の拡大に努めてまいります。

一方、歳出においては、事務事業の見直しにより無駄をなくし、スクラップ&ビルド方式により、より効果のある事業に資源を配分することで、

必要な行政サービスは極力維持しつつ、将来の村政発展に向けた施策が推進できるよう取り組みました。

具体的には、これまでの慣例にとらわれることなく、事業をゼロベースで見直し、すでにこれまでの実績で目的を達成している事業や事業効果の薄い事業などは廃止または縮小し、新たなステージ目標に向かった事業を育てつつ、将来に向かって財政運営が持続可能となるような予算編成に努めました。

それでは、平成31年度の村行政の主な取り組み方向につきまして、第6次総合計画の区分に沿ってご説明します。



## 《住みよい暮らしのために》

初めに「住みよい暮らしのために」に対する取り組みです。

全国的に人口減少・少子高齢化が深刻化し、当村においてもその対策が急務となっています。先般1月31日に新潟県から公表された人口移動調査によると、新潟県の人口は1年間で0・93%の減少となり、当村においては、3・05%の減少率と県内で2番目に高い数値となっています。特に、社会動態における転出超過率では、1・57%と県内で1番高い比率となっております。人口流出に歯止めがかからない状況です。

こうした状況を踏まえ、まず第一に地域づくり、地域力の強化に努めてまいります。そのためには、これからの地域を担うリーダーの育成が急務と考えます。地域の発展を願うリーダーの存在とその活躍により、世代を超えて地域全体での支え合いが生まれ、不足しがちなマンパワーを補い合うことで、地域の一体感が団結力が高まり、より良い



地域づくりが可能になると考えるからです。

そこで、現在進めている地域の課題や解決策を導き出すための地域住民アンケートに加え、次世代リーダーとなる若者たちとの懇談会を開催し、村の将来について語り合う意見交換を実施したいと考えています。この懇談会を開催するに当たっては、各地区のコミュニティの協力が無ければ実現できません。コミュニティの皆さまのご協力を得て、若者と意見を交わし、若者の意見による地域づくりと併せて若者に選ばれる村づくりも検討していきたいと考えます。

一方で、地域づくりには、村外の人たちからの多様な意見を取り入れることも重要です。このことから、今年度は、昨年度から始めた滞在型のか月インターンを継続するほか、新たに県内外の大学生を地域に招いて、その地域の活性化策等を考える「集落活性化事業」に取り組みます。さらに、地域おこし協力隊については、その趣旨を地域の皆さまにご理解いただけるよう周知した上で、増員を図りたいと考えています。

次に、地域防災力の強化です。

昨年は全国各地で災害が発生しました。近年の異常気象や国内の災害の発生状況を見ますと、関川村の防災力の強化は急務と考えます。

各避難所における、防災倉庫の設置について、平成31年度で村内避難所への整備を完了させ、土砂災害ハザードマップも完成する予定です。また、これまで災害・防災情報については、各家庭に設置された防災無線等により伝達していましたが、村外への外出時にも防災情報が伝わるよう新たに防災メールを導入します。

しかし、災害時の避難については、常日頃の備えや訓練が大事であり、施設・設備等が整備されたら完了するものではありません。そのために、日ごろからの防災の備え、有事の際の職員の動きや地域の皆さまの行動・対応についても、再確認いただく機会を設けたいと考えています。

なお、こうした防災の取り組みを着実に推進するには、村に住み、防災を専門に担当できる専門知識を有した職員

が必要と考えており、現在、防災の専門職員を期限付きで職員に採用すべく、検討を進めているところです。

次に、空き家対策についてです。

空き家については、全国的に増加しており、その適切な管理と活用が大きな課題となっており、当村においても同様です。

空き家については、国・県の制度を利用して、適切な管理と併せて、これを資源として利活用を図ることも重要と考えますので、今年度、空き家所有者意向調査を実施するとともに、空き家等対策計画の策定を行うこととしています。

現在、空き家バンク制度での空き家登録件数は少ないものの、平成30年度に2軒の売買取成しました。今後は空き家の売買のみならず、賃貸借による制度利用も視野に入れ、より有効な空き家対策として、この制度を引き続き実施してまいります。

次に、交通弱者対策です。

最近、県内各地で、ライフスタイルの変化や人口減少による影響もあって、路線バス

の廃止が進み、核家族化や高齢化の進行とあいまって、交通弱者対策が大きな課題となつてきています。

家族や地域の支え合い、結びつきの強い当村にとつても、家族間の協力だけでは、難しいケースが顕在化する時期が来ますし、行政としましては、地域づくりの一環としても対応を考えなければならぬ課題です。

将来の交通対策、買い物困難者対策に喫緊に取り組み時期と考えており、J.R、公共バス、タクシートの活用や乗合バスの運行など先進事例も参考にしながら、関川村のニーズにあった交通弱者対策を関係機関や地域の皆さまとともに確立したいと考えています。

次に、医療の確保についてです。

高齢化の進む村にとりまして、医療の確保は大きな課題と考えています。全国的な問題となつている医師の偏在などを要因とした医師不足については、地域医療の中核を担う県立坂町病院においても深刻な問題となつています。このため、村上市・胎内市・関川村で構成する県立坂町病院

活性化協議会において、医師確保に向けた要望活動を引き続き行つてまいります。関川診療所につきましては、治療のみならず、住民が住み慣れた地域で安心して、その人らしく暮らすことができるよう、地域の開業医の先生方をはじめ県立坂町病院や厚生連村上総合病院などとの連携も密にしながら、地域包括ケアシステムを推進してまいります。

住みよい暮らしの実現には、最も身近な自治組織である集落やコミュニティの活性化が不可欠です。若年層から高齢者までが一緒に社会参加し、地域全体が活気に満ちている、そんな地域づくりが求められます。自らの課題を考え、解決する主体的な地域の活動を今後とも積極的に支援してまいります。



## 《地域を担う産業の振興のために》

次に「地域を担う産業の振興のために」に対する取り組みです。

産業振興については、人口流出への対応として企業誘致のご意見をよくいただきます。村では、今ある村の産業とながら企業誘致と起業の推進、村の土地や資源を有効に活用できる企業誘致や産業振興の推進を行いたいと考えます。

とはいえ、まず第一に考えるべきは、今ある地域の産業をどのように振興させるかです。

初めに、農業についてです。当村の農業は、稲作を中心とした兼業農家が大半を占める農業形態となっています。米政策は、大きな転換期を迎え、昨年からの国による生産目標の配分が廃止され、需要に応じた生産販売を行うこととなりました。JAによれば、岩船米は全農からの引き合いもあり、需要は多いとのことですが、しかし、近年気象変動に伴う収量や品質の低下、食味評価の低迷、価格の低迷など、岩船米にとって厳しい状況が続

いていることも事実です。岩船米の需要確保はもろろんのこと、コスト削減による経営体質の強化を図った上で、関係機関・団体や農業法人、農業者と連携し、ブランド力強化に努めます。さらに、稲作においては、わらやもみ殻という、これまで注目されていなかった副産物もあります。

現在、わらやもみ殻は、通販サイト等でも販売され、家庭菜園やわらクラフト等での需要があるようです。需給バランスもありますが、大したもん蛇まつりの大蛇や猫ちぐらといった地域の魅力につながる生産物や新たな産業になる可能性を秘めています。米作りという得意分野のさらなる振興策として研究していきたいと考えています。

また、生産基盤の強化、整備についてですが、県営事業として整備が進んでいる女川左岸地域のほ場整備などに対する支援を継続して行うとともに、農地の集積と規模拡大、生産性の向上、高収益作物への挑戦などに必要となるほ場整備については、他の地域についても支援を行いたいと考えています。

一方で、農林業の担い手不足、耕作放棄地の拡大、管理されていない山林など、問題がますます深刻化してきています。それぞれの集落、地域で農林業をどう守り、どのように活用していくか話し合いが不可欠です。村としても、関係機関・団体と連携しながら相談や支援を行ってまいります。

次に、林業、園芸、特用林産物などの振興についてですが、従来にはない、新たな取り組みも必要ではないかと考えます。林業につきましても、材としての木材のほか、木材加工などの新たな取り組みの可能性についても関係機関において検討していただきたいです。観光との連携も検討する余地があると考えます。村もその後押しをしてまいります。

林業・園芸・特用林産物については、6次産業化を推進する取り組みとし、6次産業化による起業を行う際の初期費用に対し補助する「6次化チャレンジ事業」を創設します。また、雲母里についても、6次産業化の商品開発や製造の場としても活用を図っていきたく考えています。

次に、商工・観光業についてです。

議会や地域懇談会の中で、道の駅のリニューアルに向けた質問やご意見を多数いただきました。村ではこれまで、職員による検討会や、コミュニティ連絡協議会と共催しての視察等を行ってまいりました。

これを受け今年度は、道の駅周辺の活性化も視野に入れ、村の拠点施設として本格的にリニューアルに向けた計画づくりを進めてまいります。

また、プレミアム商品券につきましても、地域での消費拡大を政策目的として実施されてきたものでありますが、費用対効果を検証の結果、段階的に廃止する方向で、今年度は事業費を削減することとしました。

なお、商工業の衰退は、事業の縮小、閉店などを通じ消費者としての村民の不利益につながることから、「買い物は村内の店で買う」「家の工事等の仕事は、村内の事業者にお願する」という村民の意識と行動が村の商工業を支え、ひいては消費者たる村民の利益につながることを村民

に訴えたいと考えています。今後は、地域消費に資する新たな取り組みを商工会の皆さんと協議してまいりたいと考えています。

観光産業は、世界的に見ても成長性の高い産業であることから、国では、東京オリンピック・パラリンピックを控え、訪日外国人4000万人を目標に力を入れている産業であり、県においても、産業労働観光部の部内局を平成31年度から「観光局」として独立させ、外国人観光客いわゆるインバウンドの誘致や魅力ある観光地づくりへの取り組みに力を入れることとされています。

この冬には多くの台湾観光客が関川村を訪れるなどインバウンドの波は徐々に関川村にも及び始めています。

こうした流れをしつかりとらえて、インバウンドの誘客に力を入れるとともに、村の持つ観光資源を有効活用し、その魅力を積極的にPRし、誘客に努めてまいりたいと考えています。

わかぶな高原スキー場については、開業後30余年過ぎ、設備の更新時期を迎えていま



す。しかし、スキー場の運営にはさまざまな課題を抱えており、打開策等今後の見通しが、現時点では見えないことから、多額の費用を要する設備整備費は、当初予算計上を見送ることとしました。

今後の対応と必要な予算については、その都度、議会にお諮りしますので、ご審議いたいただきたいと存じます。



### 《交流から定住へ 促すために》

次に「交流から定住へ促すために」について、ご説明します。

隣県である長野県は移住者が多いことで知られています。また、岡山県は地域おこし協力隊の隊員数も多く、定住に繋がっていることで知られて

います。全国的にも田園回帰の流れが徐々にではありますが、進んできています。村ではこれまでも交流人口の増加や関係人口の増加に努めてまいりましたが、なかなか移住・定住までには至っていないのが現状です。そこで、今年「ふるさと回帰支援センター」に会員登録を行い移住・定住の促進を図ります。地域の魅力の発信の仕方を学び、村の情報発信と移住者募集を開始します。また、地域おこし協力隊についても、現在の2名の隊員のほか、新たに2名の募集を開始することとしています。地域に親しみ、地域の人たちとつながり、一緒に活動できる意欲ある隊員を採用したいと考えています。地域の皆さまとともに地域を盛り上げてくれることを期待しています。

また、住みよい暮らしのための説明でも触れましたが、関川村は、社会動態において転出超過率が県内で一番高いことから「若者から選ばれる村づくり」が必要と考えています。若者が住める場所の確保については、民間事業者によるアパートの誘致や宅地造

成なども含め、あらゆることを再度検討し、可能な限り転出を防ぎ、できれば他市町村からの転入も増やしていければと考えています。

子どもを遊ばせる身近な場所がほしいという要望もいただいています。親子で集い安心して子どもたちを遊ばせてあげられる空間づくりが必要と考えており、道の駅のリニューアルの計画の中で、検討を進めてまいります。

これまで進めてまいりました交流人口、関係人口増加の取り組みについては、今後その関係をさらに深化させるとともに、今後も村の応援団となっていただけけるよう、村民の皆さまにも協力をいただきながら継続していききたいと考えています。



### 《切れ目のない 子育て支援のために》

続いて「切れ目のない子育て支援のために」について、説明します。

生活環境や価値観の多様化などにより、子育て支援へのニーズも多様化しています。二世代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支えるため、現状を調査し、子ども・子育て支援事業計画の見直しを行います。

保護者負担の軽減という観点から、これまで実施してまいりました、高校生等の通学定期購入に対する助成、医療費助成やワクチン接種の無料化などは引き続き実施してまいります。

一方、これまで助成してまいりました学校給食の補助についてはですが、平成30年度新潟県内において、本村を含む5市町村でしか、無償化や一部補助が取り組まれていません。財政が厳しい状況でもあることから、廃止とさせていただきます。

今後は、小中学校給食の共同調理化などのコスト削減について検討するとともに、村



の農産物を積極的に取り入れた給食へとシフトさせ、顔が見える安心安全・地産地消給食の提供に向けて、実現の可能性も含めて検討してまいります。

次に保育園の運営についてです。

保育園の運営につきましては、制度が変わる年でもあります。今年10月からは、国がこれまで段階的に行ってきた幼児教育の無償化が拡充されます。具体的には、3歳から5歳までの全ての子ども、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもの保育料が給食材料費実費徴収を除き無料となります。

また、保育園の体制につい

ても、今後検討が必要と考え  
ています。

平成30年度の出生数は16人  
の予定であり、過去10年間の  
平均出生数32・8人の半数  
にまで減少してきています。

村の若者が年々減少する中、  
今後も多くの出生数も見込め  
ない状況にあります。このこ  
とから、限られた保育士の適  
正かつ効率的配置の観点や財  
政負担の問題から、下関・大  
島の2園体制の見直しについ  
て、検討していかねければな  
らないと考えているところで  
す。

また、近年児童虐待が問題  
となつています。  
虐待または必要な監護を受  
けることができない児童及び  
保護者の養育を支援すること  
が必要と認められる児童の早  
期発見・適切な保護を図るた  
め、児童相談所などの関係機  
関との連携を図ります。

## 《みんながいきいきと暮らすために》

続いて「みんながいきいき  
と暮らすために」について  
説明します。  
いきいきと暮らす。この言

葉を聞くと、私自身、笑顔の  
村民が仕事に、スポーツに、  
文化に、学業にと意欲的に取  
り組む姿を思い浮かべます。  
いきいきとこの地域で暮らし  
ていただくことは、地域の活  
力につながり、本当に大切な  
ことだと考えています。

そのためには、まず村民が  
健康でなければなりません。  
村民皆さまが健康で安心し  
て生活するためにも、まずは、  
村民一人ひとりが健康づくりに  
積極的に取り組むことが必  
要不可欠であります。そのう  
えで、地域医療の確保や向上  
を図り、地域・行政・関係団  
体が一体となった健康づくり  
推進が必要と考えます。

高齢者保健福祉計画、障が  
い者福祉計画、自殺対策計画、  
健康づくり21などの各種計画  
に基づき、健康増進に向けた  
総合的な支援や事業を行いま  
す。

健康づくりの基本は、日々  
の運動習慣や正しい生活習慣  
です。心身の異常は、その日  
常生活に支障を来すばかりで  
なく、日々の暮らしにも影響  
が生じてきます。日々の暮らし  
を守るためにも、健診事業  
は大切な事業と考えます。こ



の健診事業については、受診  
率向上を目指してさらなる工  
夫を凝らし、病気の早期発見  
早期治療につなげてまいりま  
す。

また、特定健診の検査結果  
に基づき個別に保健指導を行  
い、疾病の重症化予防を強化  
します。

次に、ピロリ菌の除菌につ  
いてです。

現在、ピロリ菌感染と胃が  
ん発症の因果関係が広く知ら  
れています。県内には、ピロ  
リ菌除菌に対する助成を行っ  
ている市町村もあります。本  
村におきましては、中学生へ  
の抗体検査及び除菌治療につ  
いて検討を進めてまいります

たが、除菌のためには中学生  
でも大人と同じ量の薬を飲ん  
で治療することから、その副  
作用の危険性があると指摘す  
る先生もいらっしゃいます。

このことから、中学生を対象  
とするのではなく、成人を対  
象にと考えています。成人の  
方がピロリ菌を保有している  
割合が高いことから、費用対  
効果の面からも妥当と考えま  
す。

実施にあたっては、医師会  
や医療機関との調整も必要で  
あり、村上市とも連携を図っ  
ていきたいと考えています。

健康づくりについては、事  
業の効果がすぐに表れるもの  
ではありませんので、今後と  
も粘り強く、着実に取り組ん  
でまいります。

次に、旧社会福祉センター  
を活用した居場所づくりにつ  
いてです。

子どもから高齢者まで、障  
がいのあるなしを問わず、誰  
でも参加し、交流ができる居  
場所を新たに旧社会福祉セン  
ターを活用してつくりたいと  
考えています。人と人、人と  
社会がつながり、共に生き、  
支え合うことを目的としてい  
ます。運営は村社会福祉協議

会へ委託し、当面、週2回の  
開所を予定しています。

次に、中学生に対する検定  
受験料への支援についてです。

これまで、中学生が学力向  
上とともに、目標を持って検  
定にチャレンジできるよう英  
語検定受験料の補助を実施し  
てまいりました。しかし、子  
どもたちには英語分野に関わ  
らずさまざまな可能性と得意  
分野があります。さまざまな  
分野での中学生のやる気を引  
き出し、さらに伸ばしていた  
だきたいという思いから、英  
語検定に加え、漢字検定、数  
学検定の受験についても補助  
し、支援してまいります。

また、学習指導要領が改正  
され、小学校道徳の教科化が  
始まりました。平成31年度か  
らは中学校道徳の教科化、さ  
らに平成32(2020)年度  
には小学校英語の本格的な教  
科化が行われます。授業数の  
増加など、教育現場も変化が  
求められるなか、地域による  
子どもとの関わりの重要性を  
感じています。平成30年度に  
学校運営協議会、地域学校協  
働本部の設置が完了し、各コ  
ミュニティごとに関川村地域  
こども応援隊を選任させてい



いただきました。両輪そろって、未来を担う子どもたちの成長に関わり、支えていただきたいと考えています。

生涯学習につきましては、いつでも誰でも学べる機会や場の提供に努め、関係団体と連携して各種事業に取り組みます。村には、魅力的な歴史文化があります。10月には、新潟県を会場に国民文化祭が開催され、村でも各種イベントを計画しています。この事業を機会に、村の豊かな歴史・文化、魅力を発信していきたいと考えています。スポーツを含む生涯学習への取り組みにより、この村に誇りを持つていただくとともに、村民の皆さまそれぞれの生きがい、やりがいにつながるよう、事業を推進してまいります。

### 《無駄のない行財政の運営のために》

最後に「無駄のない行財政運営のために」について説明します。

はじめに、村が実行委員会事務局を務めている事業において、今年1月、職員の不

適正な事務処理が発覚し、村民の皆さまの信頼を失墜させてしまう結果となりました。当該職員を懲戒処分するとともに、今後、こうしたことが起こらないよう改善策を講じ、併せて全職員に対し、コンプライアンス意識の徹底を図ったところであります。

村政を負託されたものとして心よりお詫び申し上げます。先の村議会臨時会議において条例改正いただきましたとおり、組織再編を行い、4月から新しい体制でスタートいたします。村のさまざまな課題に的確かつ効率的に対応すべく、組織が一丸となつてしっかりと行政運営に努めてまいり所存です。

次に、村の情報発信については、村の情報発信については、まだまだ工夫が必要と考えています。

村民の皆さまはもちろん村に関心のある村外の方々にも幅広く情報をお届けするため、村のホームページなどの充実をはじめ、迅速かつ的確な情報、効果的な情報発信に努めます。

次に、役場職員と地域との

連携強化についてです。

既に、地域行事などで地域に積極的に関わっている職員もおりますが、これが職員全体に広がればと願っています。今年度から、全職員を対象に地域担当職員制度を設け、各コミュニケーションの皆さまと連携を深めてまいります。お互いに気軽に話し合い、相談できる環境がさらに整えばと思っております。

予算編成においては、先ほど述べたとおり、ふるさと納税拡充による財源の確保を行うつつも厳しい財政事情を踏まえ、真に必要な住民サービスについては、その低下を極力抑えつつ、事業目的とその達成状況、費用対効果などを精査し、事業の見直しを行ってまいりました。

次年度以降も引き続き事業の見直しを継続するとともに、今後とも無駄のない行財政運営に努めてまいります。

以上、平成31年度の村政運営にあたっての方針につきまして、本定例会議に提案させていただいた各議案等の内容も踏まえ、その概要と私の思いを申し上げます。

ました。



### 《おわりに》

「村民皆さまの団結と力がなければ、村の活性化はできません」

人口減少、少子高齢化、さまざまな課題が山積する村政ではありますが、関係課で必要な情報を共有し、しっかりと連携しながら、真に村民の皆さまにとって必要な施策の展開を図ってまいります。

組織再編後の新体制のもと、職員の意識改革を図るとも

に、組織の力が最大限に発揮できるよう、村政の責任者として職員の先頭に立ち、しっかりと取り組ませていただく所存です。

関川村の将来を見据え、関川村民の生活を守り、誇りを持って住み続けたいと思える「豊かで住みよい活気ある村づくり」を一步一步進める覚悟です。

村議会ははじめ村民の皆さまのよりいっそうのご支援とご協力をお願いし、平成31年度の施政方針説明とさせていただきます。





# 平成31年度 当初予算



## ～豊かで住みよい 活気ある村の実現に向けて～

一般会計の総額は44億7,800万円。大石トンネル修繕工事等の大規模事業終了による減額も含め、昨年度より2億8,400万円の減額となりました。

厳しい財政状況を踏まえ、事業の見直しにより財源の確保に努めつつ、第6次総合計画の基本目標である「豊かで住みよい活気ある村」の実現に向けた取り組みを展開します。

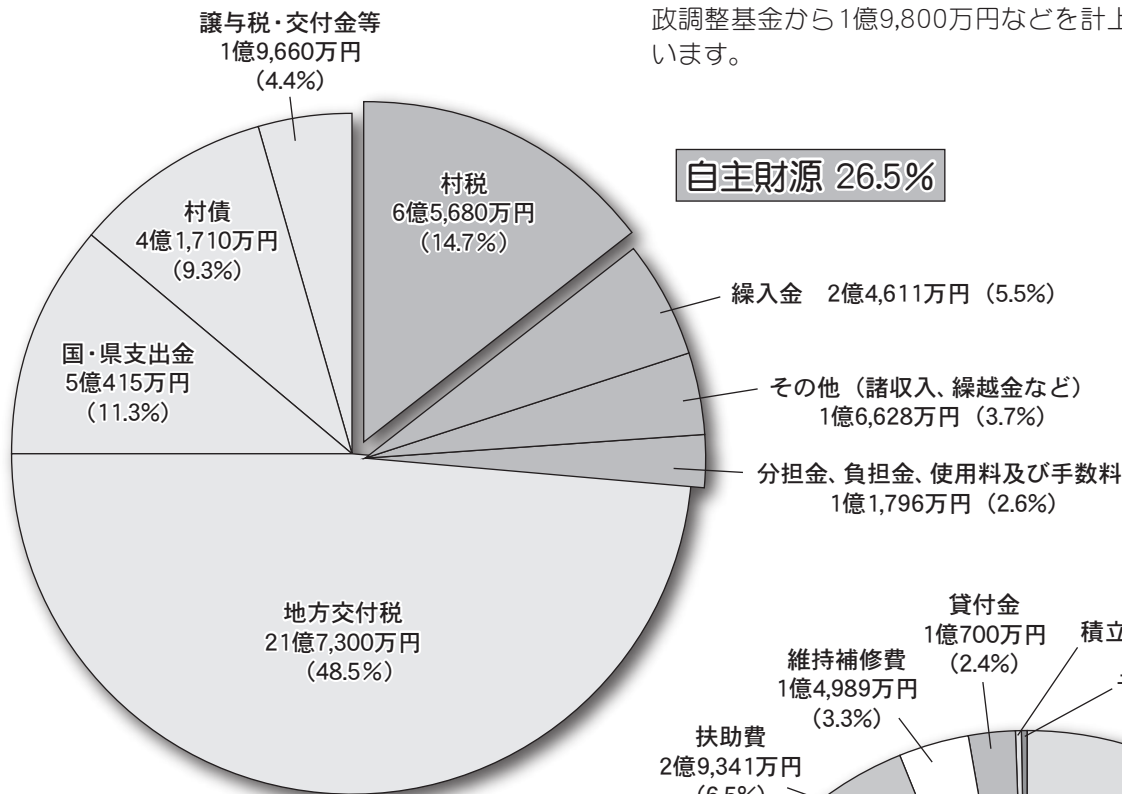
### ■各会計の当初予算

| 会 計 名            |              | 平成31年度予算   | 平成30年度予算   | 前年比        |        |
|------------------|--------------|------------|------------|------------|--------|
|                  |              |            |            | 増減額        | 増減率    |
| 一 般 会 計          |              | 44億7,800万円 | 47億6,200万円 | ▲2億8,400万円 | ▲6.0%  |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 国民健康保険事業特別会計 | 5億9,000万円  | 5億7,000万円  | 2,000万円    | 3.5%   |
|                  | 国保関川診療所特別会計  | 7,300万円    | 6,970万円    | 330万円      | 4.7%   |
|                  | 介護保険事業特別会計   | 10億1,310万円 | 10億1,040万円 | 270万円      | 0.3%   |
|                  | 後期高齢者医療特別会計  | 6,630万円    | 6,620万円    | 10万円       | 0.2%   |
|                  | 村有温泉特別会計     | 640万円      | 640万円      | 0万円        | 0.0%   |
|                  | 宅地等造成特別会計    | 10万円       | 10万円       | 0万円        | 0.0%   |
|                  | 簡易水道特別会計     | 1億2,920万円  | 9,910万円    | 3,010万円    | 30.4%  |
|                  | 公共下水道事業特別会計  | 4億630万円    | 4億5,250万円  | ▲4,620万円   | ▲10.2% |
|                  | 農業集落排水事業特別会計 | 9,960万円    | 9,020万円    | 940万円      | 10.4%  |

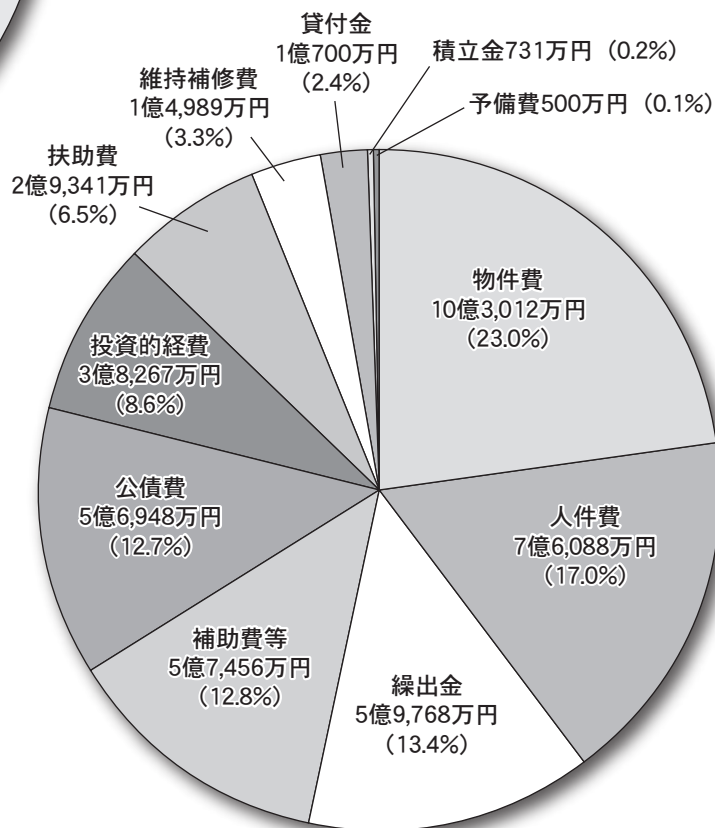
| 水道事業会計 |     | 平成31年度予算  | 平成30年度予算  | 前年比      |        |
|--------|-----|-----------|-----------|----------|--------|
|        |     |           |           | 増減額      | 増減率    |
| 収益的収支  | 収 入 | 1億1,860万円 | 1億2,052万円 | ▲192万円   | ▲1.6%  |
|        | 支 出 | 1億1,850万円 | 1億2,042万円 | ▲192万円   | ▲1.6%  |
| 資本的収支  | 収 入 | 0.1万円     | 2,000.1万円 | ▲2,000万円 | 著減     |
|        | 支 出 | 8,275万円   | 1億1,720万円 | ▲3,445万円 | ▲29.4% |

# 歳入 (一般会計)

## 44億7,800万円



### 自主財源 26.5%



### 依存財源 73.5%

#### ●物件費

村上市へ委託しているごみ処理場運営や常備消防運営、小中学校で実施しているICT教育のシステム保守や賃借料などが含まれています。

#### ●線出金

下水道会計や水道会計など、料金収入で賄いきれない特別会計に対して支出するものです。

その他国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計などに対する、法律に基づいた村の負担金も含まれています。

#### ●公債費

公債費とは借金返済額のことです。平成27年度に実施した関川中学校グラウンド整備等の返済がはじまるため、前年度より1,298万円増加します。

#### ●村税

固定資産税は3億9,426万円。村民税は1億9,329万円、たばこ税は3,173万円、入湯税は1,745万円、軽自動車税は2,007万円を計上しています。

#### ●線入金

生活支援ハウス (ゆうあい) 空調設備工事の財源として社会福祉総合対策基金から1,000万円、公民館屋上防水工事の財源として教育施設整備基金から750万円、財源不足を補つため財政調整基金から1億9,800万円などを計上 (貯金を取崩) しています。

# 歳出 (一般会計)

## 44億7,800万円





## ●住みよい暮らしづくりのために

### ○集落・コミュニティ活動の充実

コミュニティ組織運営費として258万円、村外から若者を受け入れて新たな活動に取り組み集落に対する助成として50万円をそれぞれ計上。地域活性化の基礎になる集落やコミュニティの機能強化を図ります。

### ○安心安全な暮らしの確保

自主防災組織活動の推進、運営資機材等の購入や避難訓練実施助成に65万円を計上しています。

近年の局地的豪雨による土砂災害対策として、ハザードマップ作成に725万円、災害時に避難所となる川北ふれあい自然の家への防災倉庫設置や防災備蓄品の購入に124万円をそれぞれ計上し、住民の安心安全を図ります。

国の社会資本整備総合交付金を活用して、橋りょう点検に2350万円、トンネル点検に500万円、橋りょう修繕補修設計委託に4950万円、消雪パイプ更新に4074万円をそれぞれ計上。村単独事業を含めた道路の維持補修、消雪パイプの更新、交通安全施設などの工事費は1億1974万円となりました。各集落からの要望箇所を確認し、老朽化の程度や必要性の高い順に予算を配分しています。

消防団運営費に2813万円、消火栓更新に1000万円、消防積載車の購入に480万円をそれぞれ計上し、消防団活動を支援します。

除雪経費は、消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など1億2400万円を計上。また、除雪ドーザの更新に4180万円を計上し、冬期間の安心安全を確保します。

### ○生活環境衛生の確保

ごみ処理では、収集委託料に4089万円、村上市へのごみ処理場運営費委託料に4227万円をそれぞれ計上しています。

汚水処理では、合併処理浄化槽設置補助金に360万円、

村上市へのし尿処理委託料に2048万円、下水道事業会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）繰出金に3億1567万円をそれぞれ計上しています。

安心安全な飲料水を供給するため、水道事業会計補助金に1707万円、簡易水道会計繰出金に1757万円をそれぞれ計上し、住民の環境衛生を確保します。

### ○地域おこし協力隊事業の拡充

地域おこし協力隊事業は、地域の活性化や産業振興を図るため、隊員を4名に増員し活動を推進します。その経費として1312万円を計上しています。

## ●地域を担う産業の振興のために

### ○産業振興

水田活用補助事業の経費として1000万円を計上しています。これは特定の作物を栽培するなど一定の条件を満たした生産者へ補助する制度です。また、農業における担い手、地区営農の支援育成、地域全体の農業振興を図るための経費として、多面的機能支払交付金6737万円、機構集積協力金交付金事業1205万円、農業次世代人材投資資金150万円、農林水産業総合振興事業補助金303万円などを計上しています。

また、新たに6次産業化へのチャレンジに対する助成に50万円、道の駅直売所「あいさい市」において、販売スペースを拡大するための風除室設置工事に300万円をそれぞれ計上し、地産地消や農業所得の向上を推進します。

森林の整備を図るため、森林作業道整備事業補助金950万円を計上。また、森林資源の有効活用や適切な管理を行うため森林所有者への意向調査委託に48万円を計上しています。道の駅周辺のさらなる活性化を図るため、計画策定委託料500万円を計上。再整備に向けた計画づくりを実施します。

## ●切れ目のない子育て支援のために

### ○子育て世帯の支援

生後6か月から高校3年生まで、インフルエンザワクチン接種費用を一人あたり1500円助成します。

また、妊婦一般健診の経費として44.5万円、年間10万円を上限とした不妊・不育症治療補助金30万円をそれぞれ計上。子どもの医療費助成では、村独自に対象を拡大し、入院・通院ともに高校卒業まで助成する経費として1550万円を計上しています。

さらに、高校生と中等教育学校生が通学で使用する電車や路線バスの定期券購入費用の30%を助成する経費として280万円計上しています。

### ○医療福祉の充実

新村上総合病院移転新築補助金として5000万円を計上しています。新病院が開院する平成32年度までの間に総額1億5000万円の補助を行います。

休日や平日夜間の地域医療体制（内科、小児科）を充実するため、急患診療所（村上市）の運営委託料に30万円、「あらかわ病児保育センター（県立坂町病院隣）」の運営委託料に76万円をそれぞれ計上しています。

### ○教育環境の充実

小中学校での情報通信技術（ICT）事業に2230万円を計上。電子黒板やタブレット端末を利用し、更なる学習意欲の向上、質の高い授業を行います。

また、教員助手や中学校部活動支援員の配置費として2563万円を計上。県内でもトップクラスの指導体制で、きめ細かな教育環境の充実を図ります。

## ●みんながいいきと暮らせる環境づくりのために

### ○健康づくり、高齢者福祉の充実

健康づくり推進協議会や食生活改善推進員協議会などとの

連携により、村民の健康づくりに取り組む経費として154万円を計上しています。

また、高齢者が元気で安心して暮らせることができるよう、地域の茶の間事業をはじめ、地域包括支援センターや介護予防対策の充実を図ります。なお、各地区の老人クラブの補助金に105万円、敬老会補助金に182万円をそれぞれ計上しています。

### ○社会福祉施設の充実

生活支援ハウス（ゆうあい）では、施設の老朽化に伴い、昨年から実施している空調設備更新事業に1000万円を計上しています。

### く使途が決められている収入く

### ○地方消費税交付金

平成26年4月から引き上げられた消費税のうち1.7%分は「社会保障施策に要する経費」に充てられることとされており、当村では予算額411.8万円を社会福祉総務費、老人福祉総務費、心身障害者福祉費、児童措置費、予防費、母子衛生費の経費に充てます。

### ○入湯税

入湯税は174.5万円計上しており、観光振興対策や消防施設整備の経費に充てます。

### ○電源立地地域対策交付金

発電所の設置自治体の活性化等を目的に国から交付されるもので、鷹ノ巣発電所（水力発電）が対象となっています。交付される440万円は村道の維持補修経費に充てます。





# 平成31年度の主な事業内容をお知らせします

## 議会費 予算額 5,694万円

議員報酬費 3,664万円

## 総務費 予算額 5億5,755万円

行政連絡事務委託料 1,301万円

ハザードマップ作成業務委託料 725万円

移住支援事業補助金 100万円

空き家等対策計画策定委託料 300万円

若者受入地域活性化事業補助金 50万円

大したもん蛇まつり補助金 470万円

通学用定期券購入補助金 280万円

生活交通確保対策(路線バス)運行費補助金 2,717万円

地域おこし協力隊事業費 1,312万円

村議会議員一般選挙費 365万円

## 民生費 予算額 9億974万円

国保会計繰出金 3,977万円

社会福祉協議会補助金 1,829万円

介護保険会計繰出金 1億7,719万円

後期高齢者医療会計繰出金 2,402万円

後期高齢者医療広域連合負担金 9,980万円

むつみ荘施設管理委託料 837万円

地域生活支援事業委託料 1,515万円

下越障害福祉事務組合負担金 1,356万円

心身障害者福祉タクシー助成補助金 121万円

介護給付費訓練等給付費(心障) 1億1,680万円

障害児通所サービス扶助費 446万円

重度心身障害者医療給付事業費 1,830万円

あらかわ病児保育センター事務委託料 76万円

児童手当給付事業費 6,719万円

保育園管理費(人件費含む) 1億7,558万円

子育て支援事業費 223万円

通園バス運行事業費 580万円

## 衛生費 予算額 3億4,029万円

村上総合病院移転新築補助金 5,000万円

健康づくり対策費 154万円

生活習慣病予防健診委託料 952万円

個別予防接種委託料 1,401万円

妊婦健診等委託料 445万円

医療費助成給付費(少子対策) 1,550万円

ごみ収集委託料 4,089万円

ごみ処理運営費委託料 4,227万円

村上市し尿処理委託料 2,048万円

診療所会計繰出金 370万円

水道事業会計補助金 1,707万円

簡易水道会計繰出金 1,757万円

## 農林水産業 予算額 3億9,949万円

機構集積協力金交付金 1,205万円

村水田活用推進補助金 1,000万円

有害鳥獣駆除対策事業費 288万円

中山間地域等直接支払交付金 1,970万円

あいさい市風除室設置工事 300万円

畜産振興費 623万円

国土調査事業費 1,930万円

多面的機能支払交付金 6,737万円

県営土地改良事業負担金 5,100万円

農業集落排水事業会計繰出金 6,775万円

荒川漁業協同組合補助金 184万円

## 商工労働費 予算額 3億4,336万円

関川村商工会補助金 660万円

商業活性化事業補助金 500万円

関川村観光協会補助金 1,130万円

観光施設管理委託料 6,417万円

ゆ〜む管理委託料 6,522万円

都市との交流事業費 198万円

道の駅周辺計画策定委託料 500万円

## 土木費 予算額 7億1,526万円

道路除雪対策費 1億2,400万円

除雪機械購入費(除雪ドーザ2台) 4,180万円

橋梁修繕補修設計委託料 4,950万円

橋梁長寿命化点検委託料 2,350万円

道路橋りょう維持費(工事費) 4,100万円

道路橋りょう整備費(消雪施設工事) 7,774万円

道路橋りょう整備費(交通安全施設) 100万円

ニューメゾン下関賃借料 3,260万円

住宅改修事業補助金 500万円

公共下水道事業会計繰出金 2億4,792万円

## 消防費 予算額 2億4,545万円

消防団運営費 2,813万円

常備消防運営委託料 1億8,722万円

消火栓更新工事負担金・繰出金 1,000万円

消防ポンプ積載車購入(1台) 480万円

## 教育費 予算額 3億5,471万円

スクールバス運行事業費 1,748万円

小中学生通学バス定期券購入費 1,120万円

教員助手等臨時雇用賃金 2,563万円

情報通信技術(ICT)機器保守委託料 460万円

情報通信技術(ICT)システムリース料 1,770万円

外国語指導業務委託料 491万円

検定受験料補助金 33万円

国民文化祭実行委員会補助金 200万円

重要文化財補修等管理事業補助金 470万円

村民会館管理委託料 1,297万円

せきかわ歴史とみちの館管理費 1,002万円

公民館屋上防水工事 750万円

ふれあいど〜む管理委託料 880万円

学校給食費 3,074万円

## 公債費 予算額 5億4,948万円

地方債元利償還金 5億4,748万円

一時借入金利子 200万円



**村職員**

( )内は前職

**【退職】** (三月三十一日付)

▽課長 板越昌生

※平成三十一年度再任用  
(税務会計課)

▽園長 長 里美

(大島保育園)

▽副主幹 渡部竜也

(農林観光課)

▽主査 瀬賀元子 (教育課)

▽主任保健師 佐々木沙織

(住民福祉課)

▽調理員 渡邊友子

(関川小学校)

▽課長 加藤善彦 (総務課)

再任用任期満了

▽専門員 田村久美子

(関川診療所)

再任用任期満了

**【異動】** (四月一日付)

**■総務政策課**

▽課長 野本 誠

(農林観光課長)

▽主幹 荒木好子

人事財政班長

(総務班 主幹)

▽主幹 大島祐治

観光・地域政策室長

(企画財政班 副主幹)

▽副主幹 田村清洋

観光・地域政策室

(商工観光班 副主幹)

▽副主幹 米野哲弘

観光・地域政策室

▽副主幹 小田康裕 総務班

(企画財政班 副主幹)

▽副主幹 渡邊輝章

県へ人事交流派遣

▽主査 須貝 悠

観光・地域政策室

▽主事 友坂一也

(農林振興班 主査)

▽主事 観光・地域政策室

▽主事 横山寛介

観光・地域政策室

▽主事 田村健太

(新採用)

▽主事 観光・地域政策室

(新採用)

▽主事 下野彩花

人事財政班

▽主事 渡邊浩一

(兼) 会計室長

▽主事 須貝博子

住民環境班長

▽副主幹 相馬清子

(住民戸籍班 主幹)

▽主事 河内祐樹

住民環境班

▽主事 小池由美子

(税務会計課会計室副主幹)

▽主事 佐藤義矩

(兼) 税務班

▽副主幹 佐藤恵子

介護・高齢福祉班長

▽主事 介護・高齢福祉班

(地域包括支援センター班長)

▽主幹 野本真紀子

介護・高齢福祉班

▽主事 須貝佳苗

福祉保険班

▽主事 田村美樹

福祉保険班

▽主事 池田めぐみ

健康推進班

▽副主幹 市井謙太郎

農林振興班

▽副主幹 市井隆範

農林課

▽主事 小島こづ恵

(住民戸籍班 主事)

▽主事 富樫吉栄

水道環境班

▽副主幹 市井隆範

(総務班 副主幹)

▽主事 市井謙太郎

農林振興班

▽主事 高橋夏紀

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 高橋夏紀

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

▽主事 阿部慎平

生涯学習班

**■保育園**

▽大島保育園長 田村泰子

(下関保育園)

▽大島保育園 渡辺寿子

主任保育士

(下関保育園・保育士)

▽下関保育園 平田寛幸

主任保育士

(福祉保険班・保育士)

▽下関保育園 新野紗由里

(新採用)

▽下関保育園 五十嵐地大

(新採用 任期付職員)

**【退職】**

( )内は新任校または前任校

**■関川中学校**

▽教諭 丹内重明

**【転出】**

▽教頭 今井 学

(村上市岩船中 校長)

▽教諭 清野善一

(阿賀野市京ヶ瀬中)

▽教諭 川村健一

(村上市朝日中)

▽教諭 山本 亘

(村上市村上東中)

▽教諭 本間章彦

(村上市朝日中)



- 【転入】
  - ▽教頭 齋藤 望 (村上市平林中 教頭)
  - ▽教諭 伴田寛明 (村上市村上東中)
  - ▽教諭 笹木綾子 (聖籠町聖籠中)
  - ▽教諭 時田めぐみ (阿賀野市笹神中)
  - ▽教諭 五十嵐雅人 (村上市村上東中)
  - ▽教諭 磯部志乃 (新採用)
- 関川小学校
  - 【退職】
    - ▽教諭 富樫 孝
  - 【転出】
    - ▽校長 倉松 栄 (村上市朝日さくら小 校長)
    - ▽教頭 南波 裕 (村上市村上南小 教頭)
    - ▽教諭 村山朋代 (新発田市二葉小)
- ▽教諭 東海林るみ子 (村上市さんぼく小)
- ▽教諭 鈴木舞子 (胎内市黒川小)
- 【転入】
  - ▽校長 見原 仁 (村上市村上小 教頭)
  - ▽教頭 中村克行 (阿賀野市安野小)
  - ▽教諭 當摩洋一 (村上市村上小)
- ▽教諭 宮地聡子 (村上市保内小)
- ▽教諭 中田智久 (聖籠町山倉小)
- ▽教諭 新野晃之 (新採用)
- 【その他官公署】
  - ( )内は前任地又は新任地
  - 関川村商工会
    - 【転出】
      - ▽経営支援員 (補助員) 永井由美 (中条町商工会)
      - ▽経営支援員 (記帳専任職員) 水田大介 (広神商工会)
    - 【転入】
      - ▽経営支援員 (補助員) 小川好子 (加治川商工会)
      - ▽経営支援員 (記帳専任職員) 小柳 競 (羽茂商工会)
  - 村上警察署下関交番
    - 【転出】
      - ▽所長 篠田 誠 (警察本部)
    - 【転入】
      - ▽所長 高橋英司 (新発田警察署)
  - 村上市消防本部関川分署
    - 【転出】
      - ▽主任 矢田喬之 (神林分署長)
    - ▽消防副士長 須貝優明 (神林分署)



- ▽消防士 佐藤洋祐 (神林分署)
- ▽消防士 横山健太 (山北分署)
- 【転入】
  - ▽副主任 海沼 博 (山北分署)
  - ▽副主任 高橋清光 (神林分署)
  - ▽消防士 平田圭佑 (朝日分署)
  - ▽消防士 山田新樹 (荒川分署)

## ～ 県との相互派遣人事交流を終えて ～

村では2人目となる新潟県との相互派遣人事交流が、2年の期間を終えました。総務課企画財政班で勤務された諸橋幸映主任に関川村での思い出を聞きました。



県と村との人事交流2期生として総務課で2年間お世話になりました。

赴任した当初はなかなか集落名が覚えられず電話に出るのも四苦八苦していましたが、業務やプライベートでも村民の皆さんにあたたかく接していただいたおかげで、とても楽しく思い出深い日々を過ごすことができました。

私はこの二年、村のあちらこちらで薪を割ったり、竹を切ったり、冬のイベントを開いたり、日々の暮らしを楽しむ方々や消防団の活動、地域の見守り、子育て支援など地域の暮らしを支える住民の皆さんの姿を数多く拝見しました。全国的に自治体の厳しい財政事情と人口減が叫ばれ、字面だけ見るとつい悲観的に捉えてしまいましたが、皆さんのそうした姿を思い出し、県行政に携わる一員として真摯に仕事に向き合っていたいと思いません。

四月から村を離れるのは寂しくもありますが、今度は自分が「関係人口」の一人として、ふるさと納税等を通して村に関わってほしいと思います。お祭りなどで見かけた際はぜひ声をかけてください。本当にありがとうございました。

首都圏会員の皆さんと交流  
いでの湯の関川ふる里会

2月24日、「いでの湯の関川ふる里会」の首都圏交流会が東京上野精養軒で盛大に開催されました。

「ふるさとを都市の皆さんに届けよう！」と、昭和58年に発足したふる里会も、今年で36年目。現在では首都圏を中心に会員も312人となり、多くの方に「ふるさと関川村」をお届けしています。

当日は、会員の皆さん99人のほか、加藤弘村長や近良平



議長をはじめとした村関係者43人が参加。継続会員表彰や地酒、女川ハム、生しいたけなどを景品とした大抽選会、ソプラノ歌手・河内紀恵さんの歌などのアトラクションが催され、会員の皆さんと交流を深めました。

30年継続会員として表彰された河内廣治さん（千葉県）は「30年以上継続会員の方は関川村に100万円近く納めている。それだけ魅力のある関川村をこれからも応援し続けたい」と話していました。

高性能林業機械も出動！  
ウッドジョブ見学会



道の駅せきかわで、3月2日、杉の木の伐採や薪割りを見学・体験できる「ウッドジョブ見学会」が歴史とみちの館主催で行われました。これは、道の駅からの見晴らし向上のため実施されたもので、会場には、家族連れや道の駅に訪れた人など約50人が集まり、普段森の中で行う伐採作業を間近で見学しました。

森林組合の組合員が、チェーンソーで計11本の杉の木などを伐採。音を立てて倒れる様子には観客からは歓声が上がりました。その後、枝切り、輪切りができる高性能林業機械・プロセッサの作業を実演。大木を軽々持ち上げ、みるみる枝が取れて輪切りにされる様子に新潟から来ていた小学6年生の男の子は、「こんな機械初めて見た。迫力があってカッコよかった。大きくなったら僕も乗ってみたい」と目を輝かせながら話していました。木は薪割り機によってその場で加工され、訪れた人たちも体験しました。伐採された場所には、イルミネーションが施され、今月中旬まで実施されるということです。

絵本DEかんがえる  
子育て・家族のあり方とは

絵本を読みながら、子育てや家族について考えようと3月3日、村との共催で公益財団法人新潟県女性財団出前セミナー「絵本DEかんがえる子育て・家族」が開催され、村内の親御さんなど10名が参加しました。

セミナーでは、家事、子育て、家族、自分をテーマにした4冊の本を、子育て支援ファシリテーターの立松有美さんが読み、グループで1冊ずつ本の感想を話し合いました。「家族にはいろいろな形があっている」「自分をもっている自然体の登場人物に憧れた」など、自分と絵本の中の人物を照らし合わせ、意見を出し合っていました。参加者からは、「絵本をきっかけにこんなに話が盛り上がるとは思わなかった。自分を見つめるいい機会になったので、また参加したい」など、次回開催を求める声もありました。





## 人と人、社会とのつながり 居場所から広がる助け合い

ささえあいフォーラム「つなぐ」が、3月16日、村民会館大ホールを会場に行われ、約120人が参加しました。

はじめに、劇団まん丸（团长：須貝信夫（高田））の団員が「地域包括ケアシステム」について、劇で紹介。要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、生活支援を一体的に提供する体制について話がありました。その後、上土沢、高田集落の取り組みについて活動を報告。上土沢地域の茶の間リーダーの大沼康子さんからは、これまでの茶の間の活動について、高田区長の須貝信夫さんからは、緑色のジャンパーを着た「見守り行動隊」を結成したことなど報告がありました。最後に、「地域の茶の間」の生みの親である河田瑠子さんから「多世代間が交流できる居場所を作ることで、人と人、社会がつながり、お互いに助け合うことができる」と講演がありました。



## 関川村自殺防止計画を策定 取り組みを推進します



村では自殺に追い込まれることのない村づくりを目指し、関川村自殺防止計画を策定しました。この計画には、村民一人ひとりが自殺防止に関心を高め、自殺やうつ病等に対する正しい知識と予防につながる普及啓発や、生きることの包括的な支援と体制づくりなどを掲げています。

策定にあたり、策定委員会や庁内全課で、自殺防止の意識を高める職員研修や各担当事業の中から自殺防止や生きることの支援につながる可能性のある事業を広く見直し、体制づくりを進めてきました。子ども・若者、働き盛り、高齢者等に係る機関や、住民組織、地域、相談機関など複数の団体とともに内容を検討しました。

村内には精神科専門医療機関がないため、専門医療が早期に継続して受けられるよう、かかりつけ医との連携や相談窓口、医療費助成制度を住民に周知する取り組みも上げています。

今後、この取り組みの実施や評価に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



お別れ会では、ちよこちゃんへのメッセージを管理公社の田村聖さん（下土沢）へ手

3月15日、うさぎのちよこちゃんのお別れ会が、関川小学校一年生の教室で行われました。これは、動物に触れて命の大切さを学んでもらおうと、小学校の先生から自然環境管理公社に話があり、大石小動物園で飼育されているうさぎを貸し出したもの。昨年10月から約6か月間の出張期間を経て、大石小動物園に戻ることになりました。

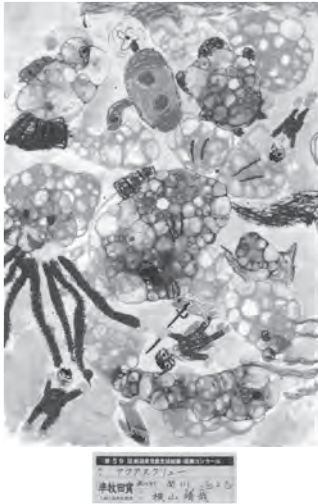
うさぎのちよこちゃんお別れ会  
& 新しいポニーの名前は!?



渡し、一人ずつ声を掛けながら触れ合い、別れを惜しみました。田村さんは「名前がなかったうさぎさんに、ちよこちゃんというステキな名前を付けてもらいました。大石ダムでまた会えるので、ぜひ遊びにきてもらいたい」と話していました。

また、18日には、一年生に新しく大石小動物園に仲間入りしたポニーについての名前募集も行いました。名前は今月中に決まり、GWから小動物園で公開される予定です。

県児童生徒絵画・版画コンクール  
**横山春哉さん** (安角)  
**準牧田賞受賞**



上越美術教育連盟が主催した県児童生徒絵画・版画コンクールは、県内の3歳から中学3年生の作品を対象に募集。絵画8,481点、版画5,751点の応募がありました。

関川小学校から、準牧田賞として横山春哉さん(2年)が受賞されました。

この準牧田賞は、1968年(昭和43年)、新潟大学芸能科(高田分校)の牧田実氏の功績を称えて設定された絵画部門の特別賞で、今年は34名が選ばれました。

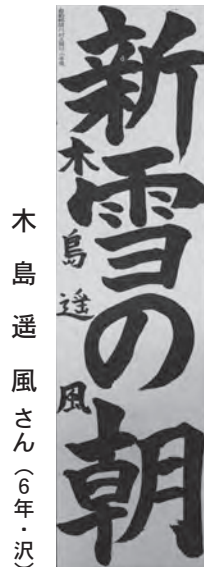
受賞おめでとうございます。

平成30年度  
**新潟県書き初め大会**  
**入選作品**

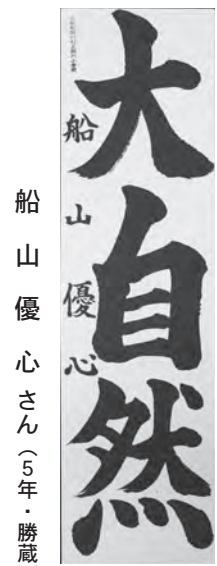
準特選に石田夢来さん(6年・下関)、木島遥風さん(6年・沢)、船山優心さん(5年・勝蔵)、藤井みゆきさん(4年・下関)が選ばれました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

- ◆主 催 新潟県書道教育研究会
- ◆応募数 24,472点

準 特 選



準 特 選



**国民健康保険連合会表彰**



このたび、佐藤靖さん(新潟市、佐藤医院院長)と米野加代子さん(上関)が、10年以上国民健康保険運営協議会委員として在職し、振興発展に尽くされたとして、国民健康保険団体連合会から表彰されました。おめでとうございます。



# 学校からのお知らせ

## 今月は関川小学校からの紹介

### 薬物乱用防止教室を行いました

3月7日(木)、学校薬剤師の藤井次和さんを講師にお招きして、6年生を対象とした薬物乱用防止教室を行いました。

当日は、藤井さんから、「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」という内容で、薬物乱用による人体への悪影響、薬物に依存してしまう恐ろしさなどについて、分かりやすく教えていただきました。

子どもたちの感想には、「今日の話聞いて、薬物の危なさや依存性が分かりました。これからも、1回だけならという言葉に気を付けていきたいです」などがあり、薬物乱用は絶対にしないことをみんなで誓いました。



### 豊かな心を育てています

「卒業式を花で飾り、心を込めて卒業生を送りだそう！」という5年生の思いを受けて、12月から青空班でパンジーを育ててきました。

12月、5年生が下学年にパンジーの植え方を優しく教え、戸外で管理しました。2月、暖かく日当たりの良い3階の多目的教室にパンジーを動かしました。5年生が中心となり、水やりなどのお世話活動を行いました。

卒業式当日は、在校生が心を込めて育てたパンジーが会場を彩り、よい香りに包まれました。

活動をリードした5年生はいよいよ6年生です。機関車役として学校を引っ張ってくださることでしょう。



## お便りください!

あなたにとっての「忘れられない風景」

## NHK-BSプレミアム 「にっぽん縦断こころ旅」



(写真提供：NHK)

村内の「忘れられない風景」にまつわるお手紙を募集しています。

テレビ番組「にっぽん縦断こころ旅(2019春の旅)」(NHK-BSプレミアム)がスタートします。俳優の火野正平さんが、4月2日、奈良県を出発し、皆さんからのお手紙をもとに、北上しながら北海道を目指します。

番組では、村内の「忘れられない風景」にまつわる手紙を募集しています。手紙が採用されると火野正平さんが村を訪れます。

皆さんからの応募をお待ちしております。

#### ■放送予定(新潟県の旅)／

6月10日(月)～6月14日(金)

#### ■応募期限／4月22日(月) 必着

■応募内容／住所、氏名、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、場所にまつわるエピソード

#### ■応募方法／

番組ホームページ <http://nhk.or.jp/kokorotabi>

FAX 03-3465-1327

郵送 〒150-8001 NHK「こころ旅」係

#### ■問い合わせ

NHKふれあいセンター ☎0570-066-066

または ☎050-3786-5000

## 村長室から

四月から広報せきかわを通じて村政に関する話題や私の思いをお伝えすることとしました。今月の話題は「ふるさと納税」についてです。

ふるさと納税とは、寄付を通じて自分が生まれ育ったふるさとに貢献するという趣旨から、平成20年度から始まった寄附金の控除制度です。

個人がふるさと納税をすると、その寄附額から2000円を超えた額（3万円寄附いたいた場合は2万8千円）が所得税や個人住民税から控除を受けられます。ただし、控除される寄附の上限額は年収や家族構成によって決まっており、例えば年収が400万円の独身者Aさんの上限額は4万3千円ほどとなります。

このAさんが村に4万円を寄付した場合、税金から3万8千円が控除され、さらにお礼の品として1万2千円相当の温泉宿泊券や関川村産コシヒカリ20kgなどから選んで受け取ることができます。

ふるさと納税の制度は、寄付を受ける自治体にとっては歳入

の増加や、産業振興へつながりますし、寄付者はその土地の特産品を楽しめたり、寄付を通じて自治体を応援できたり、納税することで寄付者と地域がつながることができる有効な手段だと考えます。

このような理由から、全国の多くの自治体でふるさと納税の推進に力を入れていきます。新潟県内10町村の平成29年度の寄附実績を見ますと、町村平均で一徳円ほどですが、関川村は678万円と残念ながら少ないのが現状です。

このため村では、寄付をしやすいうように受付窓口を広げたり、魅力ある返礼品をそろえたりするとともに、積極的にPRを行い、ふるさと納税の拡大に努めています。

今後、村民の皆さまのご協力を得て、村外に暮らすご親戚やご友人にも村のふるさと納税についてPRしていただけるような取り組みを検討中です。その際には、皆さまのご支援とご協力をよろしく願います。

ふるさと納税のお問い合わせはこちら

総務政策課 観光・地域政策室  
TEL 64-11478

## 地域おこし協力隊 活動通信

No.19

平田 拓也

今回は歴史とみちの館の庭活用を紹介します。

### 「干し柿プロジェクト」

毎年捨てられている余った柿を譲っていただき、歴史とみちの館にて柿吊るしを有志で行い、観光を兼ねた庭の活用を行いました。  
約2500個の柿を吊るすと圧巻で、みちの館が色鮮やかなオレンジ色に染まりました。

新潟日報の方にも取材に来てもらい、記事にさせていただきました。村内外から多くの方に来館いただきました。



### 「歴史とみちの館中庭開放」

開館日の晴れた日、歴史とみちの館の中庭を開放し、オープンカフェのようなスペースを提供しています。ご自由に出入りができますので、ぜひご利用ください。



### 「ウッドジョブ見学・体験」

歴史とみちの館の庭にある不要な杉の木などを、森の仕事で使う高性能機械で伐採するところの見学や、薪割り体験などイベントを開催しました。

メディアに紹介されていたこともあり、当日は村外からも多くの方に来場いただきました。



今後も歴史とみちの館の庭に足を運んでいただけるイベントなどを開催していきたいと思えます。



## H31年度も実施します！

# 住宅リフォーム補助金制度

村では、村内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、村内の施工業者によって個人住宅のリフォーム工事（改修・補修・修繕）を行う村民を対象に補助金を交付します。

### 補助対象となる工事費

補助対象額が10万円以上のリフォーム工事です。

### 補助金の額

補助対象額の10%に相当する金額で、上限額は10万円です。

ただし、リフォームを機会として下水道等に接続（加入）する場合は、20%（上限額20万円）まで引き上げます。

### 補助対象の主な条件

- ・ 村に住所登録をしていること（Uターン予定者でも場合によっては可）
- ・ 村税などを滞納していないこと
- ・ 村内施工業者が行うリフォーム工事であること

※この補助金を受けたことがある方も対象としますが、2年連続で補助金は受けられません。

※補助金の交付決定通知前に着手した工事は、補助対象になりません。

### 補助対象とならない工事

- ・ 新築、増築工事
- ・ 店舗や倉庫、車庫などの非居住部分
- ・ 耐震改修など他の補助金制度と重複する工事
- ・ 国の省エネ住宅エコポイントの対象となる工事

### 《問い合わせ先》

- ◆ 事前相談・書類申請  
総務政策課  
観光・地域政策室
- ☎ (64) 1478

## 4月8日(月)から運行開始

# 高校生等支援バスの利用について

村では、高校生等の帰宅支援を目的に、平日のみ支援バスを運行しています。  
利用にあたっては次のルールを守り、バスが安全・円滑に運行できるようご協力をお願いします。

### 利用対象者

- 中学生、高校生、専門学生、大学生

### 発車時刻

坂町駅前 19時10分

※発車時刻になっても、バスが来ていない場合は、関川村役場へ電話で確認してください。

### 利用方法・運行区間

- ・ 降車場所に関わらず、無料です。

・ 「下関行き」と「女川行き」があります。（マイクロバス2台）

・ 降車場所は、原則、路線バスのバス停です。

（下関行き）  
関川村商工会館前、下関営業所、村民会館  
（女川行き）

大島、高田橋、橋場、勝蔵

辰田新、小見、平内新、深

沢、上野新、女川ふるさと

会館、農協スタンド

・ 乗車の際、バス内入口付近

に備えている「降車場所記入簿」に、「正」の字の一面

を記入してください。

（運転員がこの記入簿を見て、停車します。）

※女川行きのバスは坂町地区の一部のバス停（下鍛冶屋、春木山、荒島、花立）にも停車します。

（村上市との連携協定による）

### 注意事項

・ 台風や雪などで羽越線の列車が遅れた場合は、19時20分まで列車の到着を待ちます。19時20分に発車します。19時20分に発車しますので、間に合わない場合はお家の人に迎えを頼むなど、

各自で対応してください。

・ 夏休みなどの長期休暇中は一定期間運休します。

（事前にお知らせします）

・ 車内での飲食は絶対に行わないでください。また、忘れ物のないようお願いいたします。

・ 乗車ルールや運転員の指示に従わない場合は、乗車をお断りする場合があります。出発時間は列車のダイヤ改正等によって変更になる場合があります。その場合は、村のホームページや車内チラシ等によってお知らせいたします。

### 《問い合わせ先》

- 総務政策課  
観光・地域政策室
- ☎ (64) 1478



# 「後期高齢者医療制度」のお知らせ

## お口の健康を保つために

一生おいしく、楽しい食生活を送るために、歯やお口は欠かせないパートナーです。  
お口の健康は、食生活だけではなく、体調にも影響します。  
大切なお口の健康を守り、いきいきとした生活を送りましょう！

### ★ 口腔機能チェック！ 気になるお口の症状はありませんか？

「あなたのお口は健康ですか？」

当てはまる項目が多い人は、口腔機能が低下している可能性があります。

- が渴きやすい
- 食べ物をよくこぼす
- 臭が気になる
- うがいがうまくできない
- お茶や汁物を飲むとむせやすい
- 固いものが食べにくい
- のなかに食べかすが残る



お口の健康を保つためには、舌や唇、ほお、のど、あごなどを鍛える必要があります。  
積極的に口腔体操を取り入れましょう。

### ★ 体操でお口をきたえよう！

|   |                            |   |                              |
|---|----------------------------|---|------------------------------|
| 1   | □を閉じたまま、ほおをふくらましたり、すぼめたりする | 2   | □を大きく開けて、舌を出したり引っ込めたりする      |
|  |                            |  |                              |
| 3   | 舌を出して上下に動かしたり、左右に動かしたりする   | 4   | □を閉じて、□の中で舌を上下したり、ぐるりと回したりする |
|  |                            |  |                              |

引用：厚生労働省「介護予防マニュアル（改訂版：平成24年3月）」



# 関川村包括支援センター通信 78

地域包括支援センター 役場庁舎内1階 ☎(64)1473

## 新しい体制でスタート

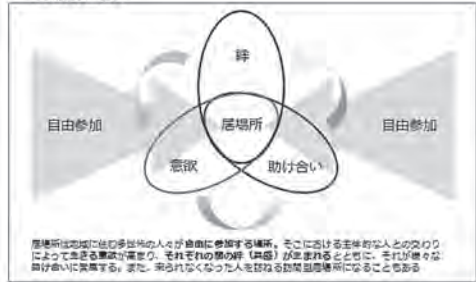
地域包括支援センターが平成18年に設置されて13年が経過しました。今年度は、健康福祉課の介護・高齢福祉班に再編され、介護部門と地域包括支援センターが一体的な体制となりました。また、健康福祉課のフロアで業務をすることになり、課内の連携を充実させる体制となりました。

今年度は、三年に一度策定する第八期介護保険事業計画・高齢者福祉保健計画の基本となる「介護予防・日常生活圏域二ーズ調査」と「在宅介護実態調査」の調査年度となります。「介護予防・日常生活圏域二ーズ調査」は、高齢者の日常生活や心身の状況を正確に把握し、生活支援サービスや介護保険サービス、介護予防事業等の取り組み、サービス量の見込みを検討するための調査です。「在宅介護実態調査」は、要介護者の在宅生活の継続や介護者の就労継続に有効な介護サービスのあり方を検討するための調査

です。どちらも高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための「地域包括ケアシステム」推進のための大切な調査ですので、ご協力をお願いします。

今年度、子どもから高齢者まで、障がいのあるなしに関係なく、自由に過ごせる居場所を旧社会福祉センターに開設する予定です。居場所は、人と人、人と社会がつながる場所として、ともに生き、支え合う関川村をつくることを目的としています。居場所については、詳細が決まりましたらご案内します。

### 居場所とは？



# 健康講座

168

## チョコレート効果って…

坂町病院 管理栄養士 横山麻子

手軽に食べられるお菓子として人気の「チョコレート」、最近TVでも取り上げられています。私たちにとって、どんないいことがあるのでしょうか？

まずは、チョコレートの成分ですが、糖質・たんぱく質・脂質・食物繊維・ミネラル・カカオポリフェノールなどがあります。そうそう、「カカオポリフェノール」聞いたことありますよね。チョコレートの原料であるカカオ豆に含まれるポリフェノールが注目されているのです。

さて、どんな効果があるのでしょうか。カカオポリフェノールには、血管を広げる作用、LDLコレステロールの酸化を防ぎ活性酸素の働きを抑える抗酸化作用、殺菌作用などがあるのです。血圧低下、動脈硬化予防、老化防止、脳活性化、虫歯予防などが期待できます。

では、どのくらい食べるといいのでしょうか。カカオポリフェノールは1日200mg〜500mgの摂取がいいと言われています。最近、72%や86%などと高カカオポリフェノールのチョコレートを見かけます。表示をみて食べる方がいいですね。でも、高エネルギーの食品なので、食べすぎは肥満に繋がります。チョコレート以外も含め、お菓子は200kcal以内に収めることが重要です。

次に、いつ食べるといいのでしょうか。カカオポリフェノールは水溶性なので、効果は2〜3時間しか持たないそうです。一度にたくさん食べないで、少しずつ食べることが大切です。

ここまで、体にいいような話ばかりでしたが、食べすぎには注意が必要です。肥満に繋がる可能性があります。また、血圧低下の効果も言われ

ていますが、必ずしも全員に効果が得られるとは限りません。カフェインも含まれていますので、子供や妊婦さんは食べる量に注意が必要です。効果の一つに、殺菌作用による虫歯予防が期待できる。とあげましたが、当然のことながら砂糖が含まれていますので、虫歯菌の働きを抑えてはくれませんが、放置せず食べた後は歯磨きをする習慣をつけましょう。

最近サプリメントなど、病気予防や改善の効果を期待するような食品がたくさん出ています。でも、基本は「バランスのとれた食事」です。これさえ食べれば安心という食材はありません。あくまでも補助的に利用し、元気に過ごしましょう。

あ、そうそう、ホワイトチョコレートには、カカオポリフェノールはほとんど含まれていませんのでご注意ください！

\*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎62-3111

じっくり心をこめて

# スロー フード

181



## たらと野菜の香味だれ酒蒸し

他の種類のお魚やお肉でもおいしくいただけます。お野菜はご家庭にあるものをご活用ください。

## 《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

### 材 料 (4人分)

- ・たら 4切れ(60g/切れ)
  - ・もやし 300g
  - ・豆苗 100g
  - ・パプリカ 60g
  - ・酒 大さじ4
  - ・ねぎ 40g
- 【A】しょうが 20g  
酢 大さじ1  
しょうゆ 大さじ1・1/3  
砂糖 小さじ2  
ごま油 小さじ1

### 作り方

- ① もやしは水洗いしてよく水気を切る。豆苗は半分の長さに切り、パプリカは種を除き細切りにする。ねぎはみじん切りにする。しょうがはすりおろす。
- ② フライパンにもやし、豆苗、パプリカ、たらの順にのせ酒を加えてふたをして強火で4～5分加熱する。
- ③ 【A】とねぎを合わせ、タレを作る。
- ④ ②の野菜がしんなりし、たらに火が通ったら器に盛り付け、③のタレをかける。

## せきかわ文芸

### 俳句

花まつりお釈迦さまも微笑みて  
小さき児らワクワク背負うランドセル  
こしあぶら春の恵みに舌つつみ  
薄紅のチェリーロード香り咲く

関川村在住 ペンネーム 月(ウオル)

### 短歌

微風が運び来る君が声色何故に咲きとを忍ぶ季に  
逢いたさ募りて福寿草温色に包まれし日に

須貝 二美(高田)

江戸時代の人とお伊勢を参るごと古文書にたどる  
吾も旅人

渡辺千恵子(上関)

### 関川俳句の会作品

音もなく降り出す雨の四温かな  
物の芽のみんな目覚めて空真っ青  
山里の瀬音に目覚むふきのとう  
天ぶらに加えて友のふきのとう  
遠き日をすかして見たし桜貝

伊藤 久恵(上関)





国際ボランティア学生協会  
IVUSA 通信

◆出会いと別れの季節がやってきました！IVUSAの四年生たちも無事に大学を卒業しました。今月号は卒業した関川っ子たちからのラストメッセージをお届けします☆

◆こんにちは！へらです。四年間たいへんお世話になりました。思い返せばお酒の飲み方を教わったのはここ関川村でした。また、みなさんとお酒がのみたいです(笑)これからも関川村に帰ります。またそのときは相手してください！ありがとうございます！

(立命館大学卒 高橋和暉)

◆四年間、お世話になりました。気がつけば、どこにいても、「じきー」と気にかけていただき、本当に嬉しかったです。

これからも後輩に負けず、私らしく、元気に帰ってきます！笑

(立命館大学卒 藤本梨紗)

◆先日開催された、大石どもんごまつりでIVUSA側のリーダーをいたしました池田周司です。いつも笑顔で学生を迎えてくれた、村の方の存在は僕の一生の宝物です。

また社会人になっても帰ります！四年間お世話になりました。

(龍谷大学卒 池田周司)

◆お久しぶりです！今では、第二の故郷といえる存在の関川村で、みなさんに会えることが本当に楽しみでした！

最後の冬に学生として帰ることはできませんでしたが、必ずまた帰ってくるので待っていてください。

四年間ありがとうございました。

(東京家政大学卒 高橋美晴)

☆担当者から☆

広報せきかわの担当者を一年間務めました私たちも今月号で担当者を卒業になります。

一年間村の皆さんにIVUSAのいろんな一面を知ってほしいと思い、記事を考えていました！また活動でお会いしたときは声をかけてください！ありがとうございます！

(龍谷大学4年 森田梨那)



一年間広報を担当させていただきました。より関川村を知り、きっかけになり、新しい村の方とのつながりを作るきっかけにもなりました。

これからも村に帰り続けるので、声をかけていただけたら嬉しいです。一年間ありがとうございました。

(神奈川大学3年 渡邊瑠菜)



来月号からは新しい担当者がお送りします！お楽しみにしてくださいね！

総発行部数 2,600部！

村内をはじめ、ふる里会員、村人会など  
首都圏にいる方にも配布

・企業宣伝 ・イベント宣伝 等々

基本枠実寸大(縦4.5cm×横9cm)

1回 村内業者 4,000円

1回 村外業者 6,000円

申し込み・お問い合わせは  
総務政策課 0254-64-1476

基本枠の1倍から  
4倍まで用意  
年間3回以上の  
プランで  
広告掲載料  
15%以上OFF！

広報せきかわに掲載する  
有料広告大募集！



# 3月10日ふれあい福祉健康フェア

## 生涯学習 情報ステーション

3月10日、村民会館アリーナを会場に「ふれあい福祉健康フェア」が開催されました。手話サークルひめさゆりの会による手話ソングで幕を開けた会場は、ここところからの健康コーナーや社協、さくら工房、手をつなぐ育成会、あけぼの会、NPO法人ここスタなどによるコーナーが設けられ、福祉について身近に感じることができました。また、スポーツ推進委員のコーナーでは、カーリングで氷上を滑らせるストーンの代わりに円盤を投げる室内競技「カーリンコン」を、子どもから大人まで体験しました。初めて円盤を手にした、村上市から来ていた親子は「カーリングはなかなかできないけど、これなら、室内で気軽に体験

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください  
◆お問い合わせは村民会館へ  
TEL 64-2134



▶カーリンコン体験コーナー



▶ズンバキッズの皆さん

できる。機会があったらまたやってみたい」と話していました。

## 図書室の窓から

村民会館図書室

いよいよ春の到来です。新しい第一歩を踏み出す方が多い季節でもあります。図書室ではそんな方々にぴったりの書籍も揃えてあります。お気軽にお越しください。

### この本よんで!!

「プップクプードル」  
やまだ なおと



ほくたちの演奏でみんなをたのませよう！ポップで鮮やかなイラストにも注目の絵本です。  
第14回えほん大賞絵本部門大賞受賞作品。

### NEW!!

「そして旅にいる」  
加藤 千恵



旅先の心もとなさと美味しいごはんが私の心を癒していく。  
恋愛小説の名手が描く、初の旅小説です。



### 今月の図書館バス

にじ色と、“汽車”のメロディーが目印です。

高田～沢～女川 方面……………13(土)  
大島～片貝～大石 方面……………20(土)

※車内でカード申込みができ、その場で借りることもできます。

### 20日は おはなしのかい

絵本の読み聞かせとプチ工作

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。家族みんなでの参加も大歓迎！  
参加費は無料です！

毎週水曜日がお休みです。平日は、13時～17時30分まで、土・日・祝は、9時～17時まで開館しています。



# 大会結果

\*敬称略

## 第9回

### 村民ふれあい 綱引き大会

- 期日 2月24日
- 会場 村民会館アリーナ
- 成績
- 一般の部 — (全6チーム)
- ▽ 優勝 川北和楽
- ▽ 準優勝 レッドブル 九ヶ谷
- ▽ 第3位 ゴールドベアーズ
- 小学生の部 — (全4チーム)
- ▽ 優勝 ソフトテニスA



## 戸籍の窓

● 2月18日～3月17日までの届出●

### お誕生おめでとうございます

りょう すけ  
亮 祐ちゃん (男) 荒川台  
須貝 祐介・裕子 さん  
りく と  
陸 翔ちゃん (男) 蔵田島  
佐藤 大輔・亜美 さん

### ごめい福をお祈りいたします

|          |     |     |
|----------|-----|-----|
| 田村 幸 さん  | 85歳 | 大 島 |
| 南 保文 さん  | 85歳 | 上 関 |
| 新野チヨノ さん | 96歳 | 金 丸 |
| 横山 トイ さん | 87歳 | 打 上 |
| 坂上 進 さん  | 80歳 | 上 関 |
| 近 久男 さん  | 85歳 | 若 山 |
| 渡邊 ハツ さん | 96歳 | 上 関 |
| 井上 昭作 さん | 78歳 | 土 沢 |
| 石山 隆康 さん | 77歳 | 松 平 |
| 菅沼金二郎 さん | 88歳 | 中 東 |
| 松浦 榮一 さん | 77歳 | 久 保 |

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

## 人の動き

平成31年2月末現在 ( )は前月対比

|     |             |
|-----|-------------|
| 世帯数 | 1,912世帯(-2) |
| 総人口 | 5,625人(-25) |
| 男   | 2,696人(-11) |
| 女   | 2,929人(-14) |

|                  |
|------------------|
| ( 転入 5人 転出 14人 ) |
| ( 出生 1人 死亡 17人 ) |

## 編集室から

▶ 出会いと別れの季節ですね…。  
関川中学校の卒業式取材しました。文武ともに活躍した卒業生たちが、涙を浮かべながら歌っていた卒業記念合唱に感動しました。卒業おめでとうございます。これから新たな人生の幕開け。これまで以上に活躍してくれることを期待しています。そして、大きくなって、またぜひ村に戻ってきてください。(友)

### おわびと訂正

先月号の19ページ「戸籍の窓」で「八幡捨一さん」と記載されていましたが、「八幡拾一さん」の誤りでした。ご家族の皆さまには不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。おわびして訂正します。

- ▽ 準優勝 スポ少野球
- ▽ 第3位 ソフトテニスB
- 交流戦 —
- 勝 川北和楽 (3人)
- ソフトテニスA (7人)

## 第31回

### 囲碁将棋大会

- 期日 2月11日
- 会場 村民会館休養室
- 成績
- 将棋の部 (平手対局) —
- 優勝 齋藤竹規 (南赤谷)
- 準優勝 伊藤昌義 (村上市)
- 第3位 佐藤登志雄 (大島)
- 囲碁の部 (ハンディ対局) —
- Aグループ
- 優勝 石山礼久 (胎内市)

- 準優勝 大沼剛一
- 第3位 佐藤忠良 (上土沢・六段)
- (朴坂・七段)
- Bグループ
- 優勝 近 明 (蔵野・四段)
- 準優勝 加藤義彦 (内須川・二段)
- 第3位 高橋一裕 (上土沢・初段)

※第31回囲碁将棋大会について先月も掲載したところですが、村外の方の成績を除いたので、再度村外の方も含め掲載します。

# あなたに直撃



渡辺憂悟さん  
(上 関)

中越高校に推薦で入学が決まった渡辺憂悟さんに話を聞きました。

①入学おめでとうございます。一言お願いします。

中越高校の入学が決まり、うれしい気持ちと頑張りたいという気持ちがあります。ここまでやってこれたのは、周りの人の支えがあったからこそだと思っています。感謝に尽きません。甲子園に行って恩返しをしたいです。

②高校ではなにを頑張りたいですか？

高校では、野球を頑張りたいです。自分は、小さいときからずっと甲子園を目指していて、高校は強い高校に入りたいと思い、中越高校に決めました。これからは、練習もきつくなるとは思いますが、弱音を吐かずにしっかりとついていって、1年生からレギュラーを取れるように頑張りたいです。自分で決めた道なので、最後まで絶対にやり遂げたいです。

③将来の夢を教えてください。

自分は将来プロ野球選手を目指しています。小学校からの夢で、ずっと変わらずにここまでやってきたので、高校3年間でしっかり活躍して、自分の夢が叶うよう頑張りたいです。



# まつり輝く☆せきかわっ子たち

vol.88

今月は、関川中バスケットボール部部長の船山祥汰さん(2年・沼)を紹介します！



小学生のとき、先輩から誘われてスポ少からバスケットを始めた祥汰さんは、部長としてチームを引っ張ります。ポジションはガードで、相手を置き去りにする鋭い切り込みは、さすが郡市の選抜に選ばれるほど。ガッツのあるプレーやみんなをまとめる力がある一つ上の齋藤日向さんに憧れ、さらにネットでNBAの試合を見て、常に自分を高めるための研究を怠りません。

⑥ 部員からみた祥汰さんは？

- ・力強いプレーをする。
- ・試合でも、練習でも常に引っ張ってくれる。



⑥ 顧問の田島隆之先生から祥汰さんへ

日ごろ、誰よりも早くコートに出て練習をする姿は周囲のお手本です。そのあふれる熱意で、関川中バスケット部を勝利に導いてください。

⑥ 将来の夢は？

スポーツ関係の仕事  
バスケット部の顧問

司令塔の祥汰さん  
チーム力で目指せ！県大会！

# わが家の人気者

れい 玲衣ちゃん(6歳)

えりか 依里香ちゃん(1歳)

石山竜太郎さん 智美さん(下川口)



好奇心旺盛で頑張り屋な玲衣。妹の面倒見も良い優しいお姉ちゃん。依里香は自由奔放な振舞いで家族を笑顔にしてくれる癒し系。二人とも猫と音楽が大好きで、歌ったり踊ったり毎日がとても賑やか。これからも優しい気持ちを忘れずに、仲良く元気に育ってね。